

2015 年度秋学期 授 業 評 価 報 告

科 目 区 分 名	スポーツ・健康科目
-----------	-----------

アンケート結果、今後の改善、その他特記事項（授業方法の工夫等）についての総評

スポーツ・健康科目では、昨年度同様 100%の実施率であり、回答率は、93.6%(2013 年度 91.6%、2014 年度 92.6%)であり、全体的に回答率が高い。2013 及び 2014 年度秋学期のスポーツ・健康科目と比較し、以下 3 点が特徴として挙げられる。

- (1) 学生の授業内容理解度、授業中の意欲的な活動、知的好奇心、教員の話しの理解度、授業方法、授業内容とシラバスの一致、教員の授業に対する配慮に関する項目はいずれも平均値 4.3 を超え、全体的にかなり高い。特に、いずれの質問項目でも、評点が 5 の割合が最も高く、すべて 5 割以上を超えている。このことは、2013 及び 2014 年度秋学期とほぼ同じ傾向を示している。
- (2) DWCLA10 の選択率に関してもコミュニケーション力が全体の 46.1%(2013 年度 42.4%、2014 年度 43.9%)であり、最も高い比率である。次に、自己管理能力が全体の 27.2%(2013 年度 24.8%、2014 年度 24.8%)、思いやる力が 21.0%(2013 年度 19.5%、2014 年度 25.6%)、変化対応力が 16.4%(2013 年度 13.8%、2014 年度 15%)と続いている。この傾向は 2013 年度からほぼ同じである。
- (3) 授業時間以外の学習時間は、0.18 時間であり、全学平均よりもかなり低い。内訳として、0 時間が 83.0%(2013 年度 88.7%、2014 年度 89.4%)という結果であった。これは昨年度の秋学期とほぼ同じである。

以上、スポーツ・健康科目は全体的に関しては、昨年度秋学期とほぼ同じ傾向を示している。学生は、充実した時間を過ごしていることが読み取れる。昨年度も述べたが、(3)に関しては、科目の特性上、本来あまり予習、復習を必要としない科目であるかもしれない。しかし、学生に対してもう少し多くの時間を授業時間以外の学習として与えることも重要であると考え。今後、この科目の特性を生かした教育を充実させてほしい。

上記の枠内に収まる範囲内でご記入ください。

教育・研究推進センター